

Sydney Sustainability Symposium への参加報告

理学研究科 理学専攻 物質・生命化学領域 無機化学研究室

博士前期課程 1 年 秋田裕太郎

出張先 : シドニー、オーストラリア

出張期間 : 2024 年 11 月 17 日から 11 月 22 日

渡航目的

Sydney Sustainability Symposium に参加し、持続可能エネルギーやカーボンニュートラルについての講演を聞き、最新の研究を学ぶ。また、口頭発表で他参加者とのディスカッションを通じ、今後の研究の展望を広げる。



学会会場（シドニー大学）

概要

Sydney Sustainability Symposium は、近年地球規模での課題となっている持続可能なエネルギーの開発や CO2 排出量削減について、最先端の戦略を議論するシンポジウムである。私は Preparation and Characterization of Platinum-Terbium Alloy Nanoparticles from Organometallic Complex Precursors and Mesoporous Supports という題目で口頭発表を行った。

所感

自分の専門分野と異なる最先端の研究に触れることで、研究に対する熱意をさらに高めることのできる貴重な経験となった。口頭発表では参加者とのディスカッションを通じ、自身の研究を新たな視点から見つめなおすことができた。また、学会参加者と食事を共にする機会があり、他研究室の学生や先生方と将来の展望などについて交流を深めることができた。

貴重な機会をくださった唯美津木教授、トランスフォーマティブ生命化学融合研究大学院プログラム、そして出張を支援してくださった GTR 学生支援室の皆様に深く感謝いたします。